

訪問アドボカシーとは ～市民による施設訪問活動～



2021年NPO法人子どもアドボカシーセンターOSAKA

市民アドボケイトとして活動

公益社団法人子ども情報研究センター

- 1997年 カナダアドボカシー事務所所長招致
- 2003年 「子ども家庭相談室」開設
- 2011年 イギリスのアドボカシーを学ぶ
- 2016年 施設訪問アドボケイト養成講座を受講
- 2017年 6月より、事前訪問開始
児童養護施設・障害児施設を訪問
- 2020年 3月に子どもアドボカシーセンターOSAKA
設立総会
6月にNPO法人取得

アクセスできない子どもたち 訪問の必要性

なにか、あった？

そのとき、どんな気持ちだった？

今、どんな気持ち？

どうしていきたい？

→ 聽く 意見表明の権利

ひとりひとりにあった方法で聴く

意見形成

伝える

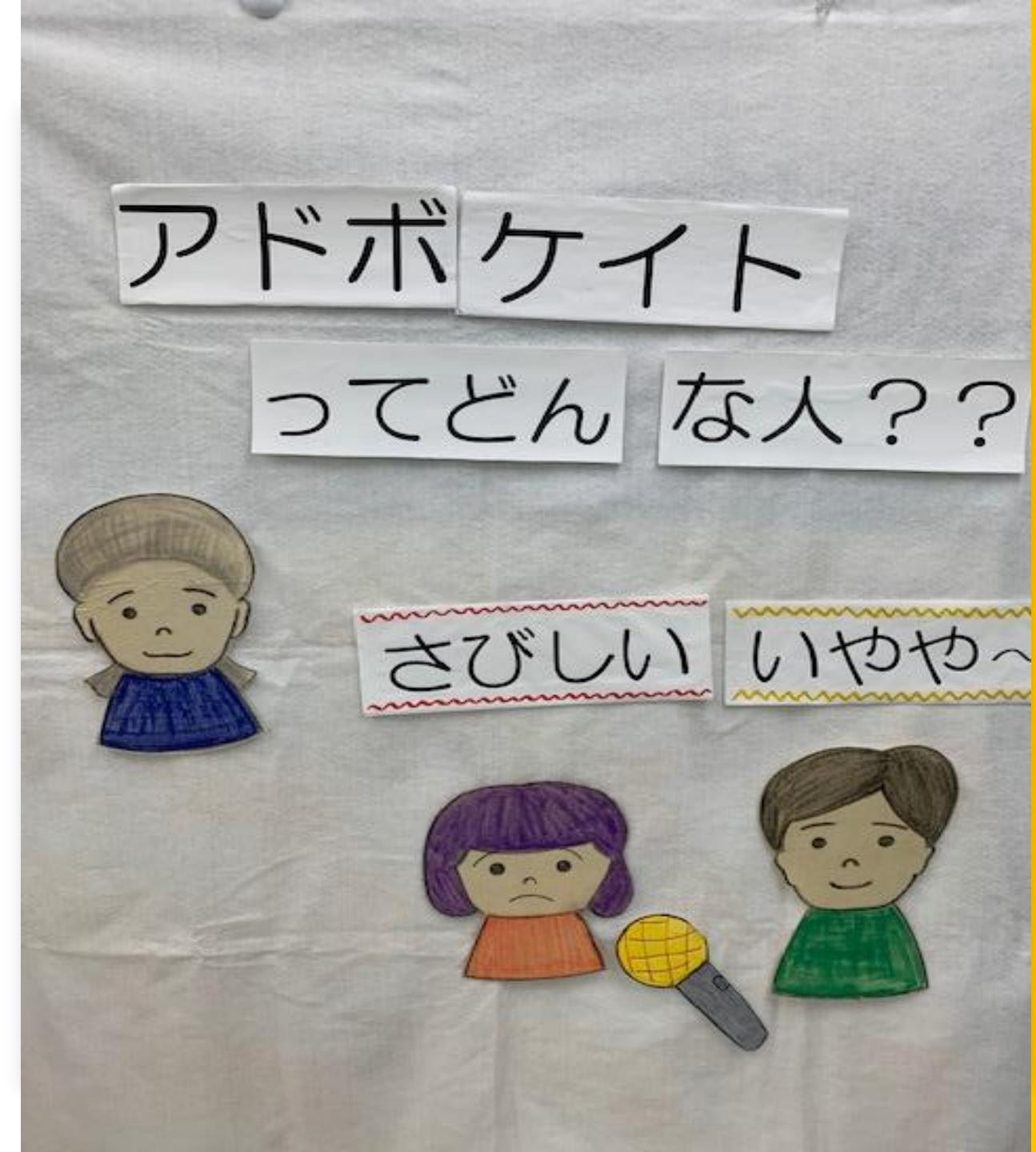


まずは、役割を伝えること

子どもへの説明

- ・動画
- ・寸劇
- ・漫談
- ・パネルシアター

独立性



アドボケイトがくるよ

メンバー紹介	①名前（呼び名）	②仕事	③好きな動物	④好きな	⑤子どもの頃に好きだった遊び
	①神宮やよい(しんぐうさん) ②子どもと遊ぶこと ③犬 ④カレーライス ⑤お絵描き、着せかえ人形		①奥村仁美(おくむらさん) ②NPOの人 ③ネコ ④クリームパン ⑤おはじきやボタンで遊ぶ		①橋本暢子(はしもとさん) ②こどもたちのそだん ③うま ④アイスクリーム ⑤おにんぎょうあそび
	①藤井浩子(ふじいさん) ②子どもたちのそだん ③ネコ ④チョコレート ⑤空想遊び		①古井美枝(ふるいさん) ②NPO事務局 ③ハシビロコウ ④ぶどう、いかのお刺身、エビ ⑤外遊び、ごっこ遊び		①山上千佳(やまがみさん) ②子どもたちのそだん ③ハムスター ④たこやき ⑤いろおに、鉄棒
	①藤田由紀子(ゆっきー) ②子どもたちのそだん ③いぬ ④おかし ⑤ドッヂボール、トランプの大富豪		①宮田久美子(みやくみ) ②子どもと遊ぶこと ③犬(ネロア) ④チョコレート、桃、りんご ⑤誰かと一緒に遊んだり話したりする事		
	①鈴木伸尚(すーくん) ②大学ではたらいでいます(学校の先生になりたい学生さんのお話を聞いています) ③ネコ(でも飼ったことはない…) ④ビーフン(めん類がめっちゃ好きです！) ⑤サッカー(でもめっちゃ下手)			 	

子どもとの出会い

子ども主導

～ 役割を伝えながら、人として ～

- 1.ユニット全員にアドボケイトの紹介
- 2.役割の説明「アドボケイトってどんな人？」
- 3.事前訪問
- 4.個別に出会い、説明・おしゃべり・……
- 5.個別に話を聞く
- 6.意見表明を支援

訪問

1ヶ月に3回～4回

2人～3人で訪問

2時間程度



子どもとつくる訪問のかたち 子どもとともに、実現・変革



声なき声をうけとめる



コロナ禍での工夫



子どもの声→伝える テキストP93~94

視覚障害の子ども（中2）

2017年6月に出会う

楽しいおしゃべり

外出

2018年

「こっちにすわって」 落ち着かない様子

プレイルームにいるときの不安を聞く

なんとかしたい → システム検討会へ

その後の対応と子どもの気持ち

子どもの声→伝える

外出したい
コロナでも、受験でも！

ともに

- 寄り添いあう
- つながる
- 子どもとともに
- 子どもの変化、施設の変化

→ 私の変化

- エンパワメントの視点